

### 不正経理事案 連合岩手再生方針確立

#### 佐藤伸一事務局長 再生「道筋」つけ勇退

6月11日、連合岩手は第33回臨時大会を開催し、2020年9月に発覚した連合岩手不正経理事案(2009年以降)に係る連合岩手再生方針を提起した。県職労は、連合岩手の真摯な検討を注視しつつ、組合員の信頼回復はもとより、連合運動が後退することがないよう意見反映をしていた。事業発覚後、連合岩手では弁護士・公認会計士の第3者を含めた検証委員会を設置して事実関係を検証するとともに、連合岩手として対応を協議してきた。



退任あいさつで感謝を述べる佐藤事務局長

監査の実施等)、②役員・歴代役員との責任と損失補填(役員・歴代役員との責任として損失補填を行う。一般社団法人・一般財団法人に關する法律の規定を参考に補填額を整理。5年を目途に補填)となっている。自治労・伊藤委員長から「再生に当たりコロナ禍で厳しい状況下に置かれている労働者の雇用や処遇確保など連合が担うべき役割は大きい。労働運動の強化で労働者総体の改善を」と再生方針の着実な実行と運動での信頼回復を訴えた。その後、再生方針は確立した。

役員改選では、連合会長に佐々木秀市さん(高教組委員長)、事務局長に鈴木圭さん(電力総連)が就任。県職労出身・佐藤伸一事務局長は、連合岩手の再生に道筋をつけたうえで、勇退することができたことに感謝」と退任あいさつ。引き続き労働運動前進に全力を挙げると誓った。

佐藤伸一さんは2017年10月の事務局長就任以来、労働運動の牽引役として活躍し、不正経理事案発覚後は再生に向け多難な局面の修復と信頼回復に全力を挙げた。県職労として同氏への労いと最大限の敬意を表するとともに、今後の労働運動の活躍を支えていく。

## 野中やすし

### 議会報告

#### 市議会6月定例会で当局を質す

県職労の皆様、日頃のご指導、ご支援に感謝申し上げます。

新型コロナウイルスのワクチン接種は、盛岡市でも高齢者を対象に進んでいます。初めは、接種の予約を取ろうとコールセンターに電話してもなかなかつながらないなど、苦情が相次ぎました。

現在、「集団接種」の予約が始まり、ネット予約を代行するサービスが始まるなど、ようやく軌道に乗っています。

市議会6月定例会では、新型コロナウイルス禍において最前線で奮闘する市職員の体制について、一般質問で当局を質しました。



市職員の定数は、本年4月現在、2,292人であり、退職者は毎年100人前後ありますが、そのうち約半分(50人前後)が「自己都合退職者」です。また、このうち年度途中で退職する職員が十数人(約3割に相当)います。市当局は、自己都合退職す

る職員について、「転職に対する前向きな機運があり、結婚に伴う転居や家庭の都合等、理由は様々だ。さほど人数は増えていない」と答弁しました。しかし、病気休暇などで職場を休んでいる職員が現在30人もおり、しかも、メンタルに不調を訴え、病休等を取る職場を休む職員も増加しています。私から、職員の欠員の早期解消に向け、社会人経験者などの年度途中採用を積極的に取り組むよう市当局に求めました。

## 勤務意欲持てる 指導員・職場体制の拡充を

### 職訓協 商工労働観部長あて要求書提出



四戸労働課長(左)に要求書を手渡す松尾職訓協議長

6月17日、県職労職業訓練職員協議会は、産業技術短期大学校(矢巾・水沢)及び高等技術専門校(二戸・宮古・千厩)の労働環境等に係る課題を商工労働観部長あて要求書として取りまとめ、主管課の定住推進・雇用労働室の四戸労働課長に提出し、基本姿勢を質すべく、交渉を行った。



交渉に臨む職訓協執行部

#### ①指導員経験者の校長・校長補佐の登用

交渉団は、指導員の上級職位の配置を強く求めた。55歳前に5級の最高号に達する職員がいること。特に技術専門校における上級ポストが少ないことによる、昇任等影響が大きい。役職の新設も要求した。四戸課長は技術専門校校長の現状に触れつつ、職員のマネジメントや関係機関との調整をする要素を考慮して人事を行っているとした。

#### ③自動車システム科の体制充実

自動車技術革新は目覚ましい。指導員の研修による技能技術向上の必要性は認識しているが、人員不足により研修に行きにくい現状は聞いている。学生の安全確保の観点からも体制強化が必要という意識を持っており、商工企画室と調整し、改善に努めたいとした。



回答する四戸労働課長

#### ④県立職業能力施設再編整備

最後に、第11次職業能力開発計画に向けた検討が始まっていることについて、Society5.0を明記し産業界と地域も一緒になって取り組みを進めていきたい、再編推進にあたり指導員との対話は不可欠であるとした。本県職業能力開発の将来像について対話できる機会を設けるよう要請した。

#### ②指導員確保

昨年度の指導員募集の結果、4月から新採用2人を迎えられたことは良しとする反面、宮古校において現在1人の欠員が生じていることについて回答を求めた。四戸課長は欠員の補充と併せて、退職者補充について、3人の指導員確保に努めるとした。交渉団からは

年度当初から欠員が生じないよう指導員確保を進めてほしいこと、更に年齢構成を考えた計画的な指導員採用を求めた。

幸せは、ひとりじゃつくりえない。



特別な条例がない限り

## 禁錮刑以上で公務員は自動的に失職

交通事故で執行猶予が付いた場合も同じです。

失職となれば日々の収入はなくなり、退職金も受け取れない可能性があります。

じちろうマイカー共済は  
起訴前の弁護士費用を支払う特約を  
在職者に標準付帯

見積もり依頼受付中 組合経由の申し込みで 団体割引掛金15%OFF

※2020年9月時点の団体割引率を記載しています。割引率は以降、変更される場合があります。

こくみん共済 NEWS 5120A039

### じちろうマイカー共済

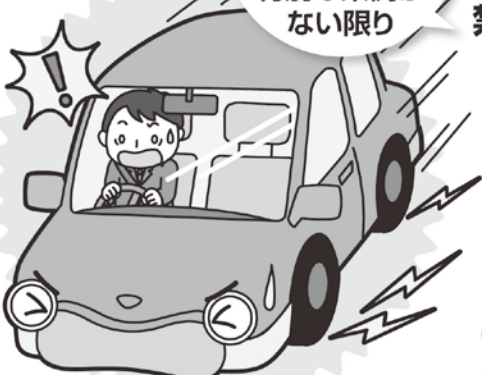
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

こくみん共済(全労済) 全労済労働者共済生活協同組合

### 自治労共済 推進本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない、保険の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神に基づき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(元)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。契約にあたってはインプレットをご覧ください。





盛岡支部のいちご狩りのようす

# おいしくいただきました!

## 県庁・盛岡支部でいちご狩りを開催

**盛岡支部** 5月23日(日) 彩花園で行い、合計41人が参加。

**【参加者の感想】**

- 子供のためにもいい企画だと思うので、是非毎年開催してほしい。葡萄やさくらんぼなど様々なフルーツ狩りがあっていいと思う。
- 家族で参加。幼児も初めて「生っている苺」を見て、大興奮。とても素敵な時間になりました。
- 子ども達もたくさんのお土産をもらって大興奮。大きい苺を両手に

満足げな顔。来年はマスク無しでいちごの甘いおいしさを堪能したい。

**県庁支部【参加者の感想】**

5月29日(土)に家族3人で参加しました。今年の会場は八幡平市にある「サラファーム」。いちご狩り用のハウスが4棟もあり、ハウスの中には様々な品種のいちごがあったので息子は大盛り上がり。新型コロナ対策のため、マスクをして収穫し、マスクを外して収穫したいちごを食べるといふのを繰り返している中で、マスクはほとんどピンク色に。お互いのマスクがピンクになっているのを見て家族で爆笑しながらいちご狩りを満喫しました。



県庁支部のいちご狩りのようす

### 釜石・気仙・一関支部が新体制に

**気仙・昆支部長、一関・播磨支部長、釜石・小原支部長**

県職労気仙支部は6月21日、一関支部が6月22日、釜石支部が6月23日にそれぞれ新体制を確立し、支部活動をスタートした。

役員・氏名は次のとおり。

**気仙支部**

支部長 悦朗 (農業改良普及セター)

副支部長 須藤 勇人 (農林振興センター)

書記長 須藤 勇人 (農林振興センター)

書記次長 岩淵 勝己 (保健福祉環境セター)

執行委員 佐々木智吉 (土木センター)

執行委員 菊地舞風悠 (地域福祉セター)

佐々木博志 (保健福祉環境セター)

花田 茂彦 (農林振興センター)

佐々木 満 (農業改良普及セター)

藤原 正 (土木センター)

佐藤 教行 (水産振興センター)

会計監事 伊藤 陽子 (地域福祉セター)

**一関支部**

支部長 辻山 拓也 (水産振興セター)

副支部長 播磨 基州 (県税センター)

書記長 佐藤 嘉彦 (農村整備センター)

書記次長 川原 周祐 (農林振興センター)

執行委員 高橋 義博 (一関土木センター)

**釜石支部**

支部長 小原 大 (水産部)

副支部長 野呂 忠勝 (水産技術セター)

書記長 菊池 静 (経営企画部)

書記次長 大村 敏昭 (漁業取締事務所)

執行委員 岩淵 恵子 (保健福祉環境セター)

木下 聖子 (保健福祉環境セター)

宇都宮政彦 (土木部)

阿部 洋 (経営企画部)

遠藤 裕樹 (水産部)

大友 俊武 (水産技術セター)

会計監事 高橋 清彦 (農林部)

鈴木 正義 (土木部)

### 学び・気づきから行動へ

#### 夏期交事前学習会に参加

6月12日(土)にエスポワールいわてで東北地連青年女性夏期交流集会の事前学習会が開催され、県職労から5人が参加した。

「交流集会運動と職場闘争」をテーマとして、宮城県大崎市職労の佐々木伸さんを講師に講演を聞いた。「ストレスを受け続けると周囲に対して攻撃的になったり、又は現実逃避して感情もなくなる。そうしないためにはみんなが目的を一致させて行動をしていくことが必要」と話がされた。

7月3日(土)には夏期交流集の本番が開催される。事後報告会も開催予定であり、気づきをえられる有意義な集会とした。

**【参加者からの感想】**

- ◆ 賃金や社会保障費等について自分の知識の無さを実感し、もっと勉強したいと思った。
- ◆ もっとたくさん仲間といて振り返り、より良く働くことを考えたいと思った。
- ◆ みんなで実態を出し合えたことから、自分の立ち位置を知ることができ、視野が広がった。
- ◆ 18時以降でない残業手当が出ないなど、公務職場の劣悪な職場実態に気付かされた。コロナの影響もあり、県民サービスを行う我々自治体職員の仕事が更に求められている。しかし、私たちも県民のひとりとして尊重されるべきだと改めて感じた。
- ◆ 「自分自身がリフレッシュでき、日々に余裕がないと100%の力を発揮できない」と講演で聞き、毎日遅くまで働いている仲間の健康や仕事に悪影響が出てしまいがちなことが分かった。元気に働くことができるよう、共感できる仲間を増やし、頑張っていきたい。

### 東北ろうきん

## 生活支援強化月間

期間 2021年6月1日(火)～2021年7月31日(土)

〈東北ろうきん〉へお気軽にご相談ください。

- 「ふれ愛預金」で社会貢献をしてみませんか?
- 暮らしにゆとりを。家計の点検をしてみませんか?
- 将来に向けて「資産形成」をはじめませんか?

期間中に当金庫所定の様式のご提出によりご相談いただいた方へ、もれなく「抗菌マスクケース(お一人さまひとつまで)」を進呈します。

対象となるお取引をご契約いただいた方全員に、もれなく「さば缶(味噌煮・水煮)」いずれか1つをプレゼント!

2021年6月1日現在

学習会参加者で記念撮影

夏期交事前学習会のようす